

平成 29 年度

特別養護老人ホームの入所状況に関する調査

平成 30 年 3 月

独立行政法人福祉医療機構

経営サポートセンター

リサーチグループ

平成 29 年度 特別養護老人ホームの入所状況に関する調査の概要

目的

特別養護老人ホームについて、地域別の入所者数や待機者の変動状況、入所者の受入れ体制や空床防止のための取組み状況等を把握することで、入所利用率の維持と安定的な経営に資する情報を提供する。

アンケートの対象および回収状況

対 象：3,533 施設

回 答 数：1,250

有効回答数：1,241

有効回答率：35.1%

実施期間

平成 29 年 10 月 16 日（月）～平成 29 年 11 月 8 日（水）

方法

Web アンケート

結果の概要

- 入所状況をみると、ここ 1 年間で利用率が低下したとする施設は約 2 割であった。低下した理由として他施設との競合の激化を挙げた施設が約 3 割あった。入所経路は本人または家族が自ら申し込むケースがもっとも多く約 8 割であった。
- 待機状況をみると、1 施設当たりの平均待機者は 117.3 人、定員 1 名当たりの待機者は 1.75 人であったが、ここ 1 年間で待機者が減少したとする施設は 48.8%と約半数を占めた。待機者が減少した理由としては、他施設との競合の激化、要介護 2 以下の入所制限をあげる施設が多く、全体の約 8 割を占めた。
- 入所者受入れのための取組みでは、地域との関係づくりや PR を目的とし、ホームページで法人・施設の概要やケアの内容等の基本情報を公開している施設が多くみられた。
- 待機者の減少により入所者の受入れに苦戦する一方、医療的ケアや認知症への対応が困難であることを理由に、入所を打診できないでいる施設が約 4 割あった。
- 受入れ体制を強化するための取組みとしては、研修等を通じた職員のスキルアップや申込者のこまめな状況把握を挙げた施設が多く、今後特別養護老人ホームに求められる役割を踏まえると、こうした取組みはさらに重要となるだろう。
- 入所者受入れのための取組みや施設の受入れ体制強化により利用率を維持し、経営基盤を盤石なものにしていくことが肝要であるといえる。

1 施設の概要

1.1 開設経過年数 (n=1,241)

	施設数	割合
5年未満	210	16.9%
5年以上10年未満	168	13.5%
10年以上15年未満	226	18.2%
15年以上20年未満	203	16.4%
20年以上30年未満	214	17.2%
30年以上	220	17.7%

注1：「割合」とは、サンプル法人全体に占める割合を指す（以下同じ）

注2：数値は四捨五入しているため、内訳の合計が合わない場合がある（以下同じ）

1.2 施設タイプ (n=1,241)

	施設数	割合
広域型	1,016	81.9%
地域密着型	223	18.0%
サテライト型	2	0.2%

1.3 居室タイプ (n=1,241)

	施設数	割合
従来型	564	45.4%
個室ユニット型	583	47.0%
一部個室ユニット型	94	7.6%

1.4 法人が実施している事業（複数回答） (n=1,241)

	施設数	割合
ショートステイ	1151	92.7%
デイサービス	984	79.3%
居宅介護支援事業所	928	74.8%
訪問介護事業	464	37.4%
認知症高齢者グループホーム	371	29.9%
地域包括支援センター	298	24.0%
ケアハウス	280	22.6%
小規模多機能型居宅介護事業	231	18.6%
介護老人保健施設	106	8.5%
有料老人ホーム	77	6.2%
サービス付き高齢者向け住宅	75	6.0%
病院	42	3.4%
その他社会福祉施設	357	28.8%
その他医療施設	50	4.0%

注：「法人が実施している事業」とは、特別養護老人ホーム以外に当該法人が実施しているものを指す

1.5 定員数 (n=1,241)

	施設数	割合
30人未満	224	18.0%
30人以上50人未満	67	5.4%
50人以上100人未満	734	59.1%
100人以上	216	17.4%

2 施設の入所・待機状況

2.1 平成29年10月1日時点の利用率 (n=1,241)

	施設数	割合
50%未満	3	0.2%
50%以上 80%未満	28	2.3%
80%以上 90%未満	314	25.3%
90%以上 95%未満	119	9.6%
95%以上 98%未満	347	28.0%
98%以上	430	34.6%

2.2 1年前(平成28年10月1日時点)と比較した利用率の変化 (n=1,241)

	施設数	割合
上昇した	218	17.6%
変わらない	763	61.5%
低下した	260	21.0%

2.2.2 利用率が上昇した理由として、もっとも考えられるもの (n=218)

	施設数	割合
受入れ体制を強化し、待機者が入所につながったため	91	41.7%
地域の高齢者が増加し、入所ニーズが増加したため	39	17.9%
地域の高齢者は増加していないが、入所ニーズが増加したため	29	13.3%
他施設との競合状況が緩和したため	4	1.8%
その他	55	25.2%

2.2.3 利用率が低下した理由として、もっとも考えられるもの (n=260)

	施設数	割合
他施設との競合が激化したため	75	28.8%
要介護2以下が入所要件から外れたため	47	18.1%
受入れ体制が整わず、待機者の入所につながらなかったため	45	17.3%
地域の高齢者は減少していないが、入所ニーズが減少したため	17	6.5%
地域の高齢者が減少し、入所ニーズが減少したため	9	3.5%
定員数の拡充をしたため	2	0.8%
その他	65	25.0%

2.3 待機者数 (n=1,241)

人数	1施設当たり 待機者数	定員1名当たり 待機者数	待機者に占める 要介護3以上の割合
145,623人	117.3人	1.75人	64.9%

2.4 待機者数の内訳 (n=1,241)

	施設数	割合
49人以下	422	34.0%
50人以上 99人以下	318	25.6%
100人以上 149人以下	212	17.1%
150人以上 199人以下	115	9.3%
200人以上	174	14.0%

2.5 入所申込みの受付窓口 (n=1,241)

	施設数	割合
施設で受け	1,182	95.2%
自治体で受け	39	3.1%
自治体・施設どちらも	20	1.6%

2.6 待機者の受入れができない理由 (複数回答) (n=501)

	施設数	割合
入所候補者の回答を待っているため	277	55.3%
待機者の医療ニーズ等、個々の状態に応える体制がないため	121	24.2%
引っ越し等の手続きを待っているため	107	21.4%
入所候補者の性別に合う居室が空いていないため	51	10.2%
運営基準上の職員数は満たしているが、施設独自の職員配置基準を満たしていないため	50	10.0%
運営基準上の職員数を満たしていないため	13	2.6%
その他	123	24.6%

注：平成 29 年 10 月 1 日時点の入所者数が定員数を下回っている施設 (501 施設) を対象

2.7 1 年前 (平成 28 年 10 月 1 日時点) と比較した待機者数の変化 (n=1,241)

	施設数	割合
増加した	217	17.5%
変わらない	419	33.8%
減少した	605	48.8%

2.7.2 待機者数が増加した理由として、もっとも考えられるもの (n=217)

	施設数	割合
地域の高齢者が増加し、入所ニーズが増加したため	106	48.8%
地域の高齢者は増加していないが、入所ニーズが増加したため	78	35.9%
他施設との競争状況が緩和したため	3	1.4%
その他	30	13.8%

2.7.3 待機者数が減少した理由として、もっとも考えられるもの (n=605)

	施設数	割合
他施設との競争が激化したため	257	42.5%
要介護 2 以下が入所要件から外れたため	227	37.5%
地域の高齢者は減少していないが、入所ニーズが減少したため	48	7.9%
地域の高齢者が減少し、入所ニーズが減少したため	25	4.1%
その他	48	7.9%

2.8 特段の取組みを行わなくても、入所申込みが来る状況か (n=1,241)

	施設数	割合
はい	649	52.3%
いいえ	592	47.7%

3 入所者の状況

3.1 新規入所者の入所前の居住場所 (定員 100 名当たりの人数) (n=1,241)

	施設の所在する 市区町村内		施設の所在する 市区町村外 (同一都道府県)		施設の所在する 都道府県外		計	
		うち 法人内		うち 法人内		うち 法人内		うち 法人内
家庭	10.5	-	1.3	-	0.2	-	12.0	-
ケアハウス	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
認知症高齢者グループホーム	1.0	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	1.2	0.3
他の特別養護老人ホーム	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1
有料老人ホーム	1.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	1.2	0.0
サービス付き高齢者向け住宅	0.5	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0
介護老人保健施設	5.2	0.4	1.2	0.1	0.2	0.0	6.6	0.5
病院	5.5	0.2	1.4	0.0	0.2	0.0	7.1	0.3
その他	1.3	0.6	0.2	0.0	0.0	0.0	1.5	0.7
計	25.6	1.9	4.7	0.2	0.7	0.0	30.9	2.1

3.2 新規入所者の入所前の居住場所 (上位 3 つ) (複数回答) (n=1,241)

	施設数	割合
家庭	1,144	92.2%
病院	971	78.2%
介護老人保健施設	936	75.4%
認知症高齢者グループホーム	258	20.8%
有料老人ホーム	247	19.9%
サービス付き高齢者向け住宅	125	10.1%
他の特別養護老人ホーム	99	8.0%
ケアハウス	71	5.7%
その他	216	17.4%

注：同率 1 位、2 位、3 位を含む

3.3 各居住場所からの入所状況 (n=1,241)

家庭

- 特養入所の理由 (複数回答) (n=1,144)

	施設数	割合
介護者がいない	631	55.2%
介護者はいるが、障害・病気等の理由により、十分な介護が困難	623	54.5%
認知症や知的障害・精神障害等により居宅での生活が困難	485	42.4%
家族等による深刻な虐待が見られ、心身の安全の確保が困難	26	2.3%
その他	655	57.3%

- 特養入所の理由のうち、もっとも入所者数が多いもの (n=1,144)

	施設数	割合
介護者がいない	251	21.9%
介護者はいるが、障害・病気等の理由により、十分な介護が困難	581	50.8%
認知症や知的障害・精神障害等により居宅での生活が困難	293	25.6%
家族等による深刻な虐待が見られ、心身の安全の確保が困難	2	0.2%
その他	17	1.5%

- 入所直前まで利用していたサービス (複数回答) (n=1,144)

	施設数	割合
ショートステイ	1,085	94.8%
デイサービス	890	77.8%
小規模多機能型居宅介護事業	208	18.2%
訪問介護事業	617	53.9%
訪問看護事業	275	24.0%
その他	50	4.4%
とくになし	15	1.3%

ケアハウス

- 特養入所の理由 (複数回答) (n=71)

	施設数	割合
要介護度が上昇し、入所前の居住場所での生活が困難	62	87.3%
認知症や知的障害・精神障害等により入所前の居住場所での生活が困難	33	46.5%
特別養護老人ホームの入所待ちとして入所前の居住場所に入所したが、特別養護老人ホームに空きが出たため	14	19.7%
その他	1	1.4%

- 特養入所の理由のうち、もっとも入所者数が多いもの (n=71)

	施設数	割合
要介護度が上昇し、入所前の居住場所での生活が困難	48	67.6%
認知症や知的障害・精神障害等により入所前の居住場所での生活が困難	16	22.5%
特別養護老人ホームの入所待ちとして入所前の居住場所に入所したが、特別養護老人ホームに空きが出たため	6	8.5%
その他	1	1.4%

認知症高齢者グループホーム

- 特養入所の理由（複数回答） (n=258)

	施設数	割合
要介護度が上昇し、入所前の居住場所での生活が困難	187	72.5%
認知症や知的障害・精神障害等により入所前の居住場所での生活が困難	55	21.3%
特別養護老人ホームの入所待ちとして入所前の居住場所に入所したが、特別養護老人ホームに空きが出たため	136	52.7%
その他	14	5.4%

- 特養入所の理由のうち、もっとも入所者数が多いもの (n=258)

	施設数	割合
要介護度が上昇し、入所前の居住場所での生活が困難	145	56.2%
認知症や知的障害・精神障害等により入所前の居住場所での生活が困難	16	6.2%
特別養護老人ホームの入所待ちとして入所前の居住場所に入所したが、特別養護老人ホームに空きが出たため	88	34.1%
その他	9	3.5%

他の特別養護老人ホーム

- 特養入所の理由（複数回答） (n=99)

	施設数	割合
要介護度が上昇し、入所前の居住場所での生活が困難	16	16.2%
認知症や知的障害・精神障害等により入所前の居住場所での生活が困難	8	8.1%
特別養護老人ホームの入所待ちとして入所前の居住場所に入所したが、特別養護老人ホームに空きが出たため	50	50.5%
その他	42	42.4%

- 特養入所の理由のうち、もっとも入所者数が多いもの (n=99)

	施設数	割合
要介護度が上昇し、入所前の居住場所での生活が困難	11	11.1%
認知症や知的障害・精神障害等により入所前の居住場所での生活が困難	5	5.1%
特別養護老人ホームの入所待ちとして入所前の居住場所に入所したが、特別養護老人ホームに空きが出たため	44	44.4%
その他	39	39.4%

有料老人ホーム

- 特養入所の理由（複数回答） (n=247)

	施設数	割合
要介護度が上昇し、入所前の居住場所での生活が困難	103	41.7%
認知症や知的障害・精神障害等により入所前の居住場所での生活が困難	57	23.1%
特別養護老人ホームの入所待ちとして入所前の居住場所に入所したが、特別養護老人ホームに空きが出たため	199	80.6%
その他	36	14.6%

- 特養入所の理由のうち、もっとも入所者数が多いもの (n=247)

	施設数	割合
要介護度が上昇し、入所前の居住場所での生活が困難	48	19.4%
認知症や知的障害・精神障害等により入所前の居住場所での生活が困難	15	6.1%
特別養護老人ホームの入所待ちとして入所前の居住場所に入所したが、特別養護老人ホームに空きが出たため	159	64.4%
その他	25	10.1%

- 入所直前まで利用していたサービス（複数回答） (n=247)

	施設数	割合
ショートステイ	70	28.3%
デイサービス	125	50.6%
小規模多機能型居宅介護事業	15	6.1%
訪問介護事業	85	34.4%
訪問看護事業	34	13.8%
その他	8	3.2%
とくになし	75	30.4%

サービス付き高齢者向け住宅

- 特養入所の理由（複数回答）（n=125）

	施設数	割合
要介護度が上昇し、入所前の居住場所での生活が困難	65	52.0%
認知症や知的障害・精神障害等により入所前の居住場所での生活が困難	35	28.0%
特別養護老人ホームの入所待ちとして入所前の居住場所に入所したが、特別養護老人ホームに空きが出たため	76	60.8%
その他	11	8.8%

- 特養入所の理由のうち、もっとも入所者数が多いもの（n=125）

	施設数	割合
要介護度が上昇し、入所前の居住場所での生活が困難	45	36.0%
認知症や知的障害・精神障害等により入所前の居住場所での生活が困難	13	10.4%
特別養護老人ホームの入所待ちとして入所前の居住場所に入所したが、特別養護老人ホームに空きが出たため	61	48.8%
その他	6	4.8%

- 入所直前まで利用していたサービス（複数回答）（n=125）

	施設数	割合
ショートステイ	35	28.0%
デイサービス	79	63.2%
小規模多機能型居宅介護事業	8	6.4%
訪問介護事業	64	51.2%
訪問看護事業	24	19.2%
その他	4	3.2%
とくになし	16	12.8%

介護老人保健施設

- 特養入所の理由（複数回答）（n=936）

	施設数	割合
退所後、介護者がいないため居宅での生活が困難	631	67.4%
退所後、介護者はいるが、障害・病気等の理由により、十分な介護が困難	623	66.6%
退所後、認知症や知的障害・精神障害等により、居宅での生活が困難	485	51.8%
家族等による深刻な虐待が見られ、退所後の心身の安全の確保が困難	26	2.8%
特別養護老人ホームの入所待ちとして介護老人保健施設で生活していたが、特別養護老人ホームに空きが出たため	655	70.0%
その他	21	2.2%

- 特養入所の理由のうち、もっとも入所者数が多いもの (n=936)

	施設数	割合
退所後、介護者がいないため居宅での生活が困難	218	23.3%
退所後、介護者はいるが、障害・病気等の理由により、十分な介護が困難	236	25.2%
退所後、認知症や知的障害・精神障害等により、居宅での生活が困難	98	10.5%
家族等による深刻な虐待が見られ、退所後の心身の安全の確保が困難	0	0.0%
特別養護老人ホームの入所待ちとして介護老人保健施設で生活していたが、特別養護老人ホームに空きが出たため	374	40.0%
その他	10	1.1%

病院

- 特養入所の理由（複数回答） (n=971)

	施設数	割合
退院後、介護者がいないため居宅での生活が困難	730	75.2%
退院後、介護者はいるが、障害・病気等の理由により、十分な介護が困難	754	77.7%
退院後、認知症や知的障害・精神障害等により居宅での生活が困難	620	63.9%
家族等による深刻な虐待が見られ、退院後の心身の安全の確保が困難	39	4.0%
その他	28	2.9%

- 特養入所の理由のうち、もっとも入所者数が多いもの (n=971)

	施設数	割合
退院後、介護者がいないため居宅での生活が困難	340	35.0%
退院後、介護者はいるが、障害・病気等の理由により、十分な介護が困難	428	44.1%
退院後、認知症や知的障害・精神障害等により居宅での生活が困難	186	19.2%
家族等による深刻な虐待が見られ、退院後の心身の安全の確保が困難	1	0.1%
その他	16	1.6%

- 入所直前まで利用していたサービス（複数回答） (n=971)

	施設数	割合
ショートステイ	542	55.8%
デイサービス	414	42.6%
小規模多機能型居宅介護事業	84	8.7%
訪問介護事業	272	28.0%
訪問看護事業	137	14.1%
その他	51	5.3%
とくになし	349	35.9%

・ 入所までに連絡をとった病院内の部門・組織（複数回答）（n=971）

	施設数	割合
MSW	611	62.9%
地域連携推進室等退院支援部門	609	62.7%
病棟看護師	353	36.4%
担当看護師	242	24.9%
退院調整看護師	167	17.2%
担当医師	152	15.7%
事務部・管理部	30	3.1%
その他	13	1.3%

3.4 申込みの中で一番実績が多かったもの（n=1,241）

	施設数	割合
本人・家族が自ら申込み	1,023	82.4%
入所前の居住場所（家庭以外）からの紹介・すすめによる申込み	103	8.3%
第三者（本人・家族・入所前の居住場所以外の施設・機関）からの紹介・すすめによる申込み	115	9.3%

3.4.2 本人・家族から申込み先として選ばれた理由（上位3つ）（複数回答）（n=475）

	施設数	割合
本人の住み慣れた場所に近いため	332	69.9%
家族の居住地に近いため	315	66.3%
本人・家族がサービスの利用等でなじみがあったため	231	48.6%
空床があり比較的すぐに入所が可能であると思われたため	92	19.4%
料金が他施設と比較して安価なため	91	19.2%
地域での知名度・評判が高いため	66	13.9%
施設への交通アクセスが良いため	61	12.8%
普段かかっている医療機関との連携を行っているため	42	8.8%
看取りの体制が整っているため	33	6.9%
医療的ニーズに対応できるため	29	6.1%
施設イベント等への参加経験があったため	15	3.2%
その他	11	2.3%
不明	8	1.7%

注：2.8で「いいえ」、3.4で「本人・家族が自ら申込み」と回答した施設（475施設）を対象

3.4.3 入所前の居住場所（家庭以外）からの紹介・すすめが行われた理由（複数回答）（n=52）

	施設数	割合
本人の住み慣れた場所に近いため	44	84.6%
本人・家族から貴施設への入所希望があったため	43	82.7%
家族の居住地に近いため	38	73.1%
同法人・グループ法人の施設のため	19	36.5%
料金が他施設と比較して安価なため	16	30.8%
普段より連絡等を行っており、馴染みの関係であったため	16	30.8%
空床があり、比較的すぐに入所が可能であると思われたため	13	25.0%
本人の医療的ニーズに対応できるため	11	21.2%
地域での知名度・評判が高いため	8	15.4%
その他	0	0.0%

注：2.8で「いいえ」、3.4で「入所前の居住場所（家庭以外）からの紹介・すすめによる申込み」と回答した施設（52施設）を対象

3.4.4 入所前の居住場所（家庭以外）からの紹介につなげるため、入所前の居住場所と行っている連絡等（複数回答）（n=52）

		施設数	割合
入所候補者のケース情報の共有	電話・メール・FAXによる情報交換	37	71.2%
	各種会議での情報交換	16	30.8%
	訪問による情報共有	21	40.4%
	その他	0	0.0%
特養の空床情報の共有	電話・メール・FAXによる情報交換	28	53.8%
	各種会議での情報交換	16	30.8%
	訪問による情報共有	15	28.8%
	その他	0	0.0%
入所資料の配布		29	55.8%
その他		0	0.0%
とくになし		0	0.0%

注：2.8で「いいえ」、3.4で「入所前の居住場所（家庭以外）からの紹介・すすめによる申込み」と回答した施設（52施設）を対象

3.4.5 3.4.4のうち、効果のあるもの（複数回答）（n=52）

		施設数	割合
入所候補者のケース情報の共有	電話・メール・FAXによる情報交換	34	65.4%
	各種会議での情報交換	10	19.2%
	訪問による情報共有	17	32.7%
	その他	0	0.0%
特養の空床情報の共有	電話・メール・FAXによる情報交換	26	50.0%
	各種会議での情報交換	10	19.2%
	訪問による情報共有	10	19.2%
	その他	0	0.0%
入所資料の配布		19	36.5%
その他		0	0.0%
とくになし		1	1.9%

注：2.8で「いいえ」、3.4で「入所前の居住場所（家庭以外）からの紹介・すすめによる申込み」と回答した施設（52施設）を対象

3.4.6 第三者（本人・家族・入所前の居住場所以外の施設・機関）からの紹介・すすめが行われた際の、紹介元の機関等（複数回答）（n=65）

		施設数	割合
法人内	ショートステイ	27	41.5%
	デイサービス	11	16.9%
	小規模多機能型居宅介護事業所	8	12.3%
	訪問介護事業所	3	4.6%
	ケアハウス	6	9.2%
	認知症高齢者グループホーム	8	12.3%
	他特別養護老人ホーム	1	1.5%
	有料老人ホーム	2	3.1%
	サービス付き高齢者向け住宅	0	0.0%
	介護老人保健施設	7	10.8%
	病院	2	3.1%
	診療所	0	0.0%
	地域包括支援センター	0	0.0%
	居宅介護支援事業所	35	53.8%
	その他	2	3.1%
法人外	市区町村	10	15.4%
	ショートステイ	10	15.4%
	デイサービス	3	4.6%
	小規模多機能型居宅介護事業所	6	9.2%
	訪問介護事業所	7	10.8%
	ケアハウス	2	3.1%
	認知症高齢者グループホーム	8	12.3%
	他特別養護老人ホーム	4	6.2%
	有料老人ホーム	6	9.2%
	サービス付き高齢者向け住宅	3	4.6%
	介護老人保健施設	29	44.6%
	病院	40	61.5%
	診療所	2	3.1%
	社会福祉協議会	3	4.6%
	地域包括支援センター	9	13.8%
	居宅介護支援事業所	51	78.5%
	介護支援専門員	27	41.5%
	民生委員	1	1.5%
町内会・自治会	0	0.0%	
近隣住民	3	4.6%	
その他	1	1.5%	

注：2.8で「いいえ」、3.4で「第三者（本人・家族・入所前の居住場所以外の施設・機関）からの紹介・すすめによる申込み」と回答した施設（65施設）を対象

3.4.7 第三者（本人・家族・入所前の居住場所以外の施設・機関）からの紹介・すすめが行われた理由（複数回答）（n=65）

	施設数	割合
本人の住み慣れた場所に近いため	54	83.1%
本人・家族から貴施設への入所希望があったため	49	75.4%
本人の家族の居住地に近いため	43	66.2%
普段より連絡等を行っており、馴染みの関係であったため	22	33.8%
同法人・グループ法人の施設のため	19	29.2%
空床があり、比較的すぐに入所が可能であると思われたため	16	24.6%
料金が他施設と比較して安価なため	13	20.0%
本人の医療的ニーズに対応できるため	12	18.5%
地域での知名度・評判が高いため	11	16.9%
その他	3	4.6%

注：2.8で「いいえ」、3.4で「第三者（本人・家族・入所前の居住場所以外の施設・機関）からの紹介・すすめによる申込み」と回答した施設（65施設）を対象

3.4.8 第三者（本人・家族・入所前の居住場所以外の施設・機関）からの紹介につなげるために、入所前の居住場所と行っている連絡等（複数回答）（n=65）

		施設数	割合
入所候補者のケース情報の共有	電話・メール・FAXによる情報交換	46	70.8%
	各種会議での情報交換	21	32.3%
	訪問による情報共有	30	46.2%
	その他	0	0.0%
特養の空床情報の共有	電話・メール・FAXによる情報交換	38	58.5%
	各種会議での情報交換	14	21.5%
	訪問による情報共有	13	20.0%
	その他	0	0.0%
入所資料の配布		33	50.8%
その他		2	3.1%
とくになし		2	3.1%

注：2.8で「いいえ」、3.4で「第三者（本人・家族・入所前の居住場所以外の施設・機関）からの紹介・すすめによる申込み」と回答した施設（65施設）を対象

3.4.9 3.4.8のうち、効果のあるもの（複数回答）（n=65）

		施設数	割合
入所候補者のケース 情報の共有	電話・メール・FAXによる情報交換	41	63.1%
	各種会議での情報交換	14	21.5%
	訪問による情報共有	23	35.4%
	その他	0	0.0%
特養の空床情報の共有	電話・メール・FAXによる情報交換	36	55.4%
	各種会議での情報交換	10	15.4%
	訪問による情報共有	11	16.9%
	その他	0	0.0%
入所資料の配布		21	32.3%
その他		0	0.0%
とくになし		2	3.1%

注：2.8で「いいえ」、3.4で「第三者（本人・家族・入所前の居住場所以外の施設・機関）からの紹介・おすすめによる申込み」と回答した施設（65施設）を対象

4 施設・法人のPR、地域との関係づくり

4.1 施設・法人のPR、地域との関係づくりのために実施している内容（複数回答）（n=1,241）

		施設数	割合
ホームページで 情報公開	基本情報（法人・施設の概要、ケアの内容等）	1122	90.4%
	申し込み方法	579	46.7%
	イベント情報	474	38.2%
	パンフレット	398	32.1%
	空床状況	120	9.7%
ちらし・パンフ レットの配布	基本情報（法人・施設の概要、ケアの内容等）	738	59.5%
	イベント情報	323	26.0%
	空床状況	70	5.6%
雑誌・新聞等 への広告掲載	基本情報（法人・施設の概要、ケアの内容等）	132	10.6%
	イベント情報	57	4.6%
	空床状況	4	0.3%
施設イベントの開催		727	58.6%
地域イベントへの参加		617	49.7%
地域交流スペースの開設		462	37.2%
施設見学会の開催		333	26.8%
地域住民の居宅訪問		62	5.0%
その他		108	8.7%
とくになし		23	1.9%

4.1.2 4.1のうち、入所者受け入れに効果があるもの（複数回答）（n=1,241）

		施設数	割合
ホームページで 情報公開	基本情報（法人・施設の概要、ケアの内容等）	932	75.1%
	申し込み方法	291	23.4%
	イベント情報	226	18.2%
	パンフレット	204	16.4%
	空床状況	73	5.9%
ちらし・パンフ レットの配布	基本情報（法人・施設の概要、ケアの内容等）	626	50.4%
	イベント情報	210	16.9%
	空床状況	48	3.9%
雑誌・新聞等 への広告掲載	基本情報（法人・施設の概要、ケアの内容等）	112	9.0%
	イベント情報	42	3.4%
	空床状況	4	0.3%
施設イベントの開催		454	36.6%
地域イベントへの参加		307	24.7%
施設見学会の開催		259	20.9%
地域交流スペースの開設		224	18.0%
地域住民の居宅訪問		38	3.1%
その他		61	4.9%
とくになし		170	13.7%

4.2 入所者受け入れのため、地域住民に対してアピールしているポイント（抜粋）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域交流スペースを無料で貸出している ・ 地域との繋がりを重要視し、地域のイベント等に参加して交流を深めている ・ 栄養面に配慮したバランスの取れた食事の提供。地産地消への取組み ・ 医療的ケアが必要な入所者の受け入れの拡充に努め、看取り介護体制を整えている ・ 理学療法士が常勤にて勤務、リハビリを重視している
--

4.3 入所者受け入れのための施設・法人のPR、地域との関係づくりについて、今後1年以内に実施したい取組み（抜粋）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護教室、認知症サポーター講座、地域防災訓練等の実施 ・ 施設見学会を実施し、施設での生活や支援体制を知ってもらう ・ 庭園を整備して地域住民に開放し憩いの場となり入所者との交流の場とする ・ 老人保健施設、居宅介護支援事業所への定期的な訪問 ・ 民生委員の会議や認知症カフェで行われている介護保険等学習会に参加し、地域との関係を構築 ・ 地域住民に有償ボランティアで施設に入ってもらい理解を図る ・ 定期的に施設の広報誌を回覧 ・ 施設イベント等をSNSを使って情報提供

5 施設内で実施している取組み

5.1 過去1年間（平成28年10月1日～平成29年9月30日）において、待機者に入所を打診したケースの有無（n=1,241）

	施設数	割合	1施設当たり件数	定員1人当たり 件数
あり	1,129	91.0%	27.36	0.41
なし	112	9.0%	-	-

5.1.2 過去1年間（平成28年10月1日～平成29年9月30日）において、待機者に入所を打診したが入所につながらなかったケースの有無（n=1,129）

	施設数	割合	1施設当たり件数	入所につながらなかった割合
あり	833	73.8%	12.93	42.2%
なし	296	26.2%	-	-

5.1.3 入所を打診したが入所につながらなかった理由（複数回答）（n=833）

	施設数	割合
他の特別養護老人ホームへすでに入所していた	591	70.9%
医療的ケアの必要性が高く、対応できなかった	419	50.3%
他の施設（特別養護老人ホーム以外）へすでに入所していた	406	48.7%
死亡していた	387	46.5%
入院中であった	366	43.9%
在宅サービス利用により、在宅生活が可能であった	230	27.6%
本人が入所を拒否した	192	23.0%
要介護度が2以下になった	117	14.0%
認知症が悪化しており、対応できなかった	67	8.0%
その他	105	12.6%

5.1.4 5.1.3のうち、もっとも多いもの（n=833）

	施設数	割合
他の特別養護老人ホームへすでに入所していた	297	35.7%
医療的ケアの必要性が高く、対応できなかった	121	14.5%
他の施設（特別養護老人ホーム以外）へすでに入所していた	118	14.2%
在宅サービス利用により、在宅生活が可能であった	80	9.6%
死亡していた	63	7.6%
入院中であった	56	6.7%
本人が入所を拒否した	28	3.4%
要介護度が2以下になった	6	0.7%
認知症が悪化しており、対応できなかった	4	0.5%
その他	60	7.2%

5.1.5 他の施設（特別養護老人ホーム以外）へすでに入所していた場合のもっとも多い施設種別（n=406）

	施設数	割合
介護老人保健施設	209	51.5%
有料老人ホーム	114	28.1%
サービス付き高齢者向け住宅	35	8.6%
認知症高齢者グループホーム	29	7.1%
その他	15	3.7%
ケアハウス	4	1.0%

5.2 過去1年間（平成28年10月1日～平成29年9月30日）において、待機者のうち入所順位が高かったが、施設の受入れ体制を理由に入所を打診できなかったケースの有無（n=1,241）

	施設数	割合	1施設当たり件数	定員1人当たり件数
あり	487	39.2%	6.14	0.09
なし	754	60.8%	-	-

5.2.2 入所を打診できなかった理由（複数回答）（n=487）

	施設数	割合
医療的ケアの必要性が高く、対応できなかった	358	73.5%
認知症が悪化しており、対応できなかった	101	20.7%
性別に合った居室に空床がなかった	55	11.3%
上記3つ以外で、個々の状態に合わせた対応が難しかった	24	4.9%
その他	230	47.2%

5.3 入所ニーズに応えるために施設で行っている体制強化（複数回答）（n=1,241）

	施設数	割合
研修等を通して、職員のスキルアップを図る	1,030	83.0%
申込者の状況をこまめに把握する	741	59.7%
退所発生を見越し、早めに申込み者に連絡する	655	52.8%
医療的ケアを行える職員数を増やす	418	33.7%
手厚いケアを行うために職員数を増やす	345	27.8%
とくに実施していない	41	3.3%
その他	39	3.1%

5.3.2 5.3のうち、効果のあるもの（上位3つ）（n=1,241）

	第1位	第2位	第3位	重み付け結果
研修等を通して、職員のスキルアップを図る	351	278	245	1,854
申込者の状況をこまめに把握する	266	258	123	1,437
退所発生を見越し、早めに申込み者に連絡する	299	198	87	1,380
医療的ケアを行える職員数を増やす	125	95	99	664
手厚いケアを行うために職員数を増やす	95	87	72	531
とくになし	72	57	104	434
その他	19	5	6	73

注：第1位：3点、第2位：2点、第3位：1点として算出

5.4 入所ニーズに応えるために施設で行っている体制強化について、今後1年以内に実施したいもの（抜粋）

<ul style="list-style-type: none"> • 認定特定行為業務従事者研修修了者の育成 • 職員向けに認知症ケアの研修を実施し、認知症のある入所者への支援を強化 • 24時間シートを活用し、利用者個々の生活を把握 • 感染症対策、事故防止対策研修等をさらに充実し、支援体制を強化 • 月1回ターミナルケアの勉強会を開催し、職員一人一人が知識をもって看取り介護を実施 • 入所者の重度化による業務量の増と、これに伴う入所者との関わりの減を改善すべく、業務全体の見直し • 他の施設への見学や実習を実施し、見習ったり真似できる事柄を取り入れる

5.5 平成29年10月1日時点の入院による空床の有無（n=1,241）

	施設数	割合	平均空床数	定員1人当たりの空床数
あり	854	68.8%	2.86	0.04
なし	387	31.2%	-	-

5.6 過去1年間（平成28年10月1日～平成29年9月30日）における、様態悪化等による入院の有無（n=1,241）

	施設数	割合	入所者1名1回あたり日数
あり	1,212	97.7%	27.2日
なし	29	2.3%	-

5.7 入院による空床を防ぐため、実施している取組み（複数回答）（n=1,241）

	施設数	割合
感染症・事故等を防ぐため、職員に対する研修等を行っている	1,060	85.4%
嘱託医とこまめに連携して、入所者の健康管理を行っている	992	79.9%
入所者への疾病感染を防ぐため、入所者以外（職員・家族等）の健康管理を行っている	483	38.9%
看護師を手厚く配置し、入所者の健康管理を行っている	434	35.0%
その他	87	7.0%
常勤医師を配置して、入所者の健康管理を行っている	50	4.0%
とくに実施していない	35	2.8%

5.8 入所判定会議の開催頻度・時期（n=1,241）

	施設数	割合	開催頻度（1ヶ月を31日とした場合）
定期的実施	908	73.2%	61.3日に1回
空床が発生した都度	256	20.6%	-
とくに決まっていない	77	6.2%	-

6. 施設経営

6.1 施設の安定経営に必要と思われるもの（複数回答）（n=1,241）

	施設数	割合
空床期間を発生させないようにする	1,051	84.7%
従事者確保	991	79.9%
入所申込み数の確保	797	64.2%
入所候補者の状況把握	714	57.5%
受入れ体制の強化（医療ニーズへの対応等）	712	57.4%
コスト削減	582	46.9%
その他	51	4.1%
とくになし	4	0.3%

6.1.2 6.1のうち、とくに必要だと思われるもの（上位3つ）（n=1,241）

	第1位	第2位	第3位	重み付け結果
空床期間を発生させないようにする	429	291	195	2,064
従事者確保	399	241	187	1,866
入所申込み数の確保	218	183	138	1,158
受入れ体制の強化（医療ニーズへの対応等）	99	187	201	872
入所候補者の状況把握	56	167	170	672
コスト削減	13	92	153	376
その他	23	9	7	94

注：第1位：3点、第2位：2点、第3位：1点として算出

6.2 今後の施設規模（定員数）の変更についての考え（n=1,241）

	施設数	割合
施設規模（定員数）の拡大を予定している	82	6.6%
施設規模（定員数）の拡大を実施したいが、できない	169	13.6%
施設規模（定員数）の縮小を予定している	15	1.2%
施設規模（定員数）の縮小を実施したいが、できない	16	1.3%
その他	50	4.0%
とくになし	909	73.2%

6.2.2 6.2の回答理由（抜粋）

《施設規模（定員数）の拡大を予定している》

<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のニーズが大きいため ・ ロングショートステイ利用者が多いため ・ 現在の定員数では、安定的な経営を継続するのに厳しさがあるため ・ 立て替え時期に増床し、借入金返済原資をまかないたい ・ 定員数の増加は難しい為、施設の増設を予定している。在宅生活が困難な方々に対して受け皿となるよう考えている

《施設規模（定員数）の拡大を実施したいが、できない》

- 介護職及び看護職員の確保が困難なため
- 土地の取得が困難なため
- 資金調達が困難なため
- 建設コストの上昇のため
- 施設規模を拡大し、借入金を返済していきたいが入所希望者や入所者が減少しているため、定員数を増やすことができない
- 地域密着型から広域型への転換が認められないため
- 自治体の要項上、施設開設から1年以上空けないと開設申込みができないため

《施設規模（定員数）の縮小を予定している》

- 職員確保・入所希望者確保が困難なため
- 介護報酬のマイナス改定により、収入が減少しているため
- 申込者が減っているため

《施設規模（定員数）の縮小を実施したいが、できない》

- 職員不足であり規模縮小を検討するも、規模縮小では経営に影響するため
- 入所を希望する方がいるため、定員を維持して受け入れていきたいが、職員確保が困難な状況である。指定基準に満たなくなった場合定員縮小も考えなければならない

平成 29 年度

特別養護老人ホームの入所状況に関する調査

独立行政法人福祉医療機構

経営サポートセンター

リサーチグループ

Tel : 03-3438-9932